

名張保護司会便り

生

人はみな、
生かされて
生きてゆく

発行 名張保護司会

T518・0718

名張市丸之内79 総合福祉センターふれあい内
〒518-0718
TEL 518-0718 FAX 518-3349

更生保護ネットワーク

名張保護司会便り

No.33

第69回社会を明るくする運動 作文コンテスト

名張市より2人1人賞

社会を明るくする運動は、全ての国民が犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの立ち直りを支える、地域や人のつながりについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする法務省の全国的な運動です。このような運動を皆さんに知っていただくために全国的に、小中学生からの作文コンクールが開催されています。今回、市内の小中学生からの応募総数、188点が審査されました。三重県の審査結果において、赤目中学校の高木智紗都さん、名張中学校大村十羽葵さんのお二人が受賞されました。その中から三重県更生保護事業協合理事長賞を受賞された作品をご紹介します。誰もができることで、明るい社会が作られる、明るい心で生きることがもつとすてきな生き方に繋がっていく、そんな思いが伝わってくる作品です。

- ◎三重県更生保護事業協合理事長賞
- ☆ 高木 智紗都さん (赤目中学校)
- ◎三重県更生保護女性連盟会長賞
- ☆ 大村 十羽葵さん (名張中学校)
- ◎名張市更生保護女性会会長賞
- ☆ 近藤 ひなたさん (南中学校)
- ◎名張市 BBS 会会長賞
- ☆ 野上 怜愛さん (赤目中学校)
- ◎審査委員長賞
- ☆ 西村 桐弥さん (赤目中学校)
- ◎推進委員会会長賞
- ☆ 寺戸 陽菜世さん (薦原小学校)
- ◎名張保護司会会長賞
- ☆ 岡田 昇大さん (薦原小学校)

三重県更生保護事業協合理事長賞受賞作品を紹介します

「社会を明るくするために」

高木 智紗都さん (赤目中学校)

私は、社会を明るくするためには、あいさつが必要だと思えます。最近では、殺人や虐待、いじめなど、暗いニュースがいくつも流れてきているように思います。このようなことを防ぐためには、人と人の輪をつなげ、そして深めていくことが大切だと思います。なので、私はその輪をつくるために、あいさつをたくさんすればいいのではないかと考えたのです。

でも私は、前まではあいさつをすることが苦手でした。同じ地域に住んでいる人でも、やはり「知らない人」と思ってしまう、恥ずかしさで自分からはあいさつができていませんでした。しかし、ある部活の帰り道で、犬の散歩をしていたおじいさんが、私の方を見て「ニコリと「おかえり」と言ってくれたのです。私はそのとき、あいさつができたことを知りました。自分が人にされてうれしかったことは、他の人にもしなきゃと思ひ、それから私は、自分から人にあいさつができるようになりました。そして、私があいさつした人にも、あいさつが返ってきたことが伝わって、またその人が、他の誰かにそのあたたかさを届けてほしいな、と思っています。こうすることで人と人の輪をつなげていってほしいな、と思えます。

そしてその輪を深めていくためには、身近なことに気をつけなければいけません。例えば、清掃のボランティア活動です。最近町の中で、道端にゴミが捨てられているのを見ませんか。それは社会を生きていく上でのマナーを、守れていない人がいるからです。自分の町は、自分でキレイにするという意識も持ち、絶対にゴミのポイ捨てはせず、自分の家の近くに落ちていくゴミを少し集める。それだけで、社会を明るくすることへの一歩となります。このような行動を地域のみならず、さらに人と人の

輪が深まります。ボランティアをしているときにボランティアの人と話す時、人と人の輪がさらにつながっていく、深まり、そして絆もできます。町もキレイになり、人と人の輪が強まり、絆も生まれる。清掃のボランティアって、すぐすてきな心だと思いませんか。

そして、社会を明るくするために一番大切なことは、一人一人が明るい心で生きていくということです。学校や職場、社会の中には、苦手な人や嫌いな人もいます。ですが、嫌なことでも耐えて、綺麗な心、明るい心が集まれば、それが広がって、人と人の輪はより大きく、広く、そして深くなります。一人一人の行動、心が、社会の流れをつくるのです。地域の人のあいさつを無視していませんか？ゴミを道端に捨てていませんか？お年寄りの人に親切にしていますか？人の悪口を誰彼構わず言っていますか？

自分の行動が集団の輪を乱すことのないよう、一人一人気をつけていく、それが、この社会を明るくするために私たちができることだと私は思っています。



三重県更生保護事業協合理事長賞を受賞した高木 智紗都さん (左から2人目)

※原文を尊重して掲載しています。

名張更生保護サポートセンターのお知らせ

犯罪・非行の防止や立ち直りの支援など、更生保護の活動拠点として平成30年5月にサポートセンターを開設。犯罪や非行に関する相談を受け付けています。

受付日時 毎週月・水・金曜日

午前10時～午後4時(盆・年末年始を除く)

場所 子どもセンター内(百合が丘5)

☎ 名張更生保護サポートセンター ☎ 41-0774 FAX 41-0775



愛の資金

総額 1,675,513円

(令和2年1月末日現在)

社会を明るくする運動事業	714,170円
保護司会活動費用事業	211,343円
更生保護女性会活動事業	150,000円
名張BBS会事業	50,000円
更生保護大会	300,000円
県更生保護事業助成	250,000円

更生保護愛の資金は各地区を通じて名張市内の世帯に呼び掛け、令和元年度も皆様のご理解とご協力により大きな成果を上げることができました。ご協力をいただいた皆様へ厚くお礼を申し上げます。愛の資金は次の事業に活用させていただきます。